

# システムキッチン

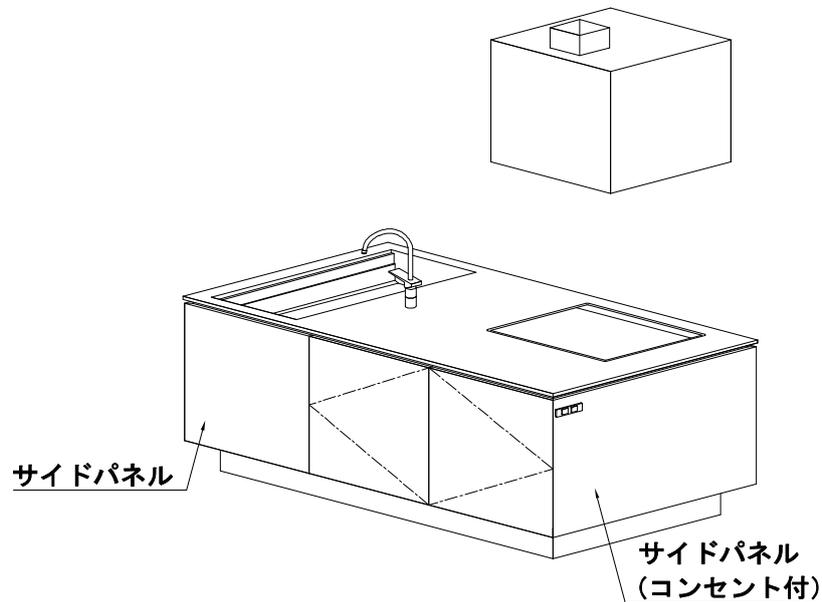
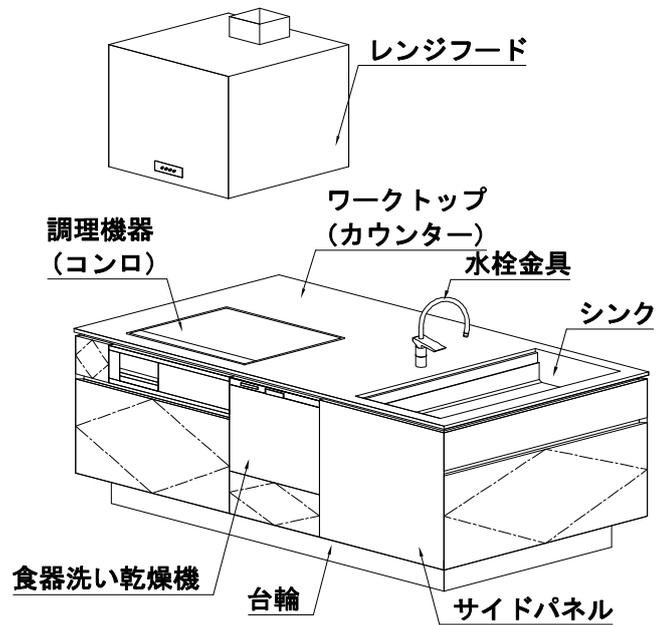
## 取扱説明書

このたびは、当社システムキッチンをお買い求めいただき、誠にありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に末永くご愛用ください。  
この取扱説明書は、お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、加熱機器や電気製品などの  
専用の取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

もくじ	● 各部の名称	1
	● 安全上のご注意	2
	● ご使用上のお願い	4
	● ご使用方法	
	扉の調整方法	7
	扉用ブルモーションの取り外し、取り付け方法	7
	引出しの取り外し、取り付け方法	8
	引出しの前板の調整方法	9
	棚板の高さを変えるには	10
	洗剤カゴについて	10
	● お手入れ方法	11
	● ホルムアルデヒド発散区分について	14
	● 故障、異常の見分け方	14

# 各部の名称

## ■ キッチン



調理機器、レンジフード、水栓、食器洗浄機については、専用の取扱説明書をご利用ください。  
この説明書は使用上支障のない範囲で略図を使用して説明しています。  
お客様の商品と一部異なる場合もございます。

# 安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



**警告**

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



**注意**

この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害発生が想定される内容」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。



**警告**

組み込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの取扱説明書及び製品本体に表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、思わぬ事故や、故障の原因になることがあります。



コンセントや電源プラグに水をかけない。また、濡れた手でコンセントや電源プラグに触れない。

感電する危険があります。



電源コンセントの表示容量（ワット）をこえる電気器具を使わない。

たこ足配線などで表示容量をこえると、発熱により火災の原因になることがあります。



調理機器の使用後やお出かけの時は、スイッチが「切」になっていることを確かめる。

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になることがあります。



調理機器の上や回りには燃える物を絶対に置かない。

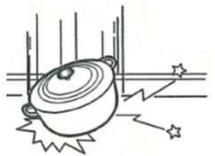
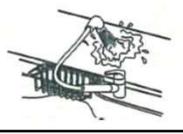
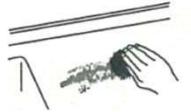
スイッチの切り忘れなどにより着火し、火災の原因になることがあります。



# 安全上のご注意（続き）

 注意	
棚板の上には8kg、引出し内には15kg以上載せない。 載せているものが落ち、けがをする恐れがあります。	
棚ダボ（受け）は、確実に奥まで差し込む。 棚板が落下して、けがをする恐れがあります。（棚板の高さの変え方：10頁参照）	
扉がガタついている時は、丁番のネジを締めなおす。 扉が落下して、けがをする恐れがあります。（扉の調整方法：7頁参照）	
吊戸棚の側板木口及び不燃仕様吊戸底板にはネジが効きません。 水切りパイプ棚等を底板に設置する場合には、それぞれの取付・設置説明書を守り、正しく取り付けする。 取り付けた製品が落下する恐れがあります。	
扉を開閉可能な角度以上大きく開け過ぎない。 扉が外れて、けがをする恐れがあります。	
扉や取手にぶらさがらない。 扉が外れて、けがをする恐れがあります。	
ワークトップや引出に乗ったり、ぶらさがらない。 引出レールの変形や、引出箱が外れてけがをする恐れがあります。	
固形または粉末の塩素系洗剤・漂白剤は、使ったり近づけたりしない。 水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や保管方法に十分に注意してください。その他洗剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。	
包丁差しの固定ネジがゆるんでガタツキが発生したときは、ネジを締めなおすか、販売店に連絡する。 包丁差しが外れて、けがをする恐れがあります。	
調理機器の使用時、使用直後は操作部以外の調理器及び周辺には、手を触れない。 やけどの恐れがあります。	
てんぷら油や多量の熱湯を、直接排水口・シンクに流さない。 シンク裏の防滴材がはがれたり、排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。てんぷら油を直接流すと排水口や排水トラップ排水管（ホース）内面に油脂分が付着し流れが悪くなり、臭気発生の原因になります。	 
コンロ脇小引出しには、2kg以上収納しない。	
扉開閉時には、丁番に触らない。 丁番に指をはさんでけがをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。	

# ご使用上のお願い

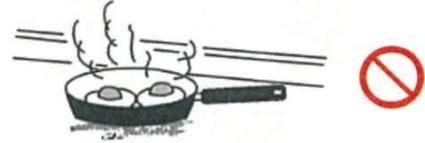
ワークトップ・シンク		
<p>塩分や油脂分の汚れを放置しないでください。 そのまま放置しておくとサビや変色の原因となりますので、 すぐに水で洗い流してください。</p>		
<p>火のついたタバコを置かないでください。 タバコの火は変色の原因になります。</p>		
<p>うがい薬（ヨード系）、シンナー、マニキュアの除光液 などが付着した場合、放置しないでください。 そのまま汚れを放置しておくと変色の原因となりますので、 すぐに拭き取った後、水で洗い流してください。</p>		
<p>硫酸・塩素系の強酸類は絶対に使用しないでください。 ワークトップやシンクを傷める原因になります。</p>		
<p>お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。 変色したり、傷がつく恐れがあります。</p>		
<p>ぬれた包丁や缶詰などの鉄製のものを放置しないでください。 鉄製は水分があるとすぐにサビが発生します。そのサビが もらいサビとなり変色の原因となります。</p>		
<p>ワークトップの上で直接包丁を使わないでください。 傷がつく恐れがありますので、必ずまな板をご使用ください。</p>		
<p>ワークトップやシンクの上に乗ったり、硬い物を落としたり、 重い物を引きずらないでください。 ワークトップやシンクが変形したり、傷発生の原因となります。</p>		
<p>ワークトップに水をかけないでください。 水が落ちて扉や床がぬれて腐る恐れがあります。</p>		
<p>金属タワシや、粒子の粗いクレンザーで擦らないでください。 傷発生の原因となります。</p>		
<p>人造大理石にコゲ取り材（塩化メチレン系）は使用しないでください。 付着した場合、表面が変色することがあります。</p>		

# ご使用上のお願い（続き）

## ワークトップ・シンク（続き）

ワークトップの上に直接熱いフライパンや鍋などを置かないでください。

ひび割れ、変色、ふくれや裏面補強材が劣化する恐れがあります。  
必ず鍋敷き等をお使いください。



殺菌灯などの紫外線照射器の光や、  
直接日光に当てないでください。

変色したり、つやがなくなる恐れがあります。

人造大理石トップ

クォーツトップ



ワークトップ表面が熱くなった箇所を触らないでください。

熱い鍋や湯沸しなど直接置き、ワークトップが熱くなった箇所を触らないでください。  
ヤケドをする恐れがあります。



特にセラミックトップの場合

衝撃を与えない。

硬く鋭利な物を落としたり、トップ端部に強い衝撃を与えないでください。  
欠けや割れの原因になります。  
万が一破損が生じた場合は破損箇所には触れないようにしてください。  
けがをする恐れがあります。



特にセラミックトップの場合

# ご使用上のお願い（続き）

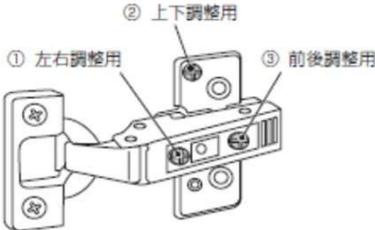
扉	
火気を近づけないでください。 その原因になるばかりか、火災の原因となる恐れがあります。	
直接日光を当てないでください。 そりや変色の原因となる恐れがあります。	
お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。 変色したり、つやがなくなる恐れがあります。	
扉・キャビネット・サイドパネルに水がかかったら、 乾いた布で拭き取ってください。 扉・キャビネットがふくれる恐れがあります。	
ハミガキ、うがい薬などが付着したらその場ですぐに中性洗剤をつけた スポンジなどで洗い、水拭きをして洗剤分を拭き取り、から拭きをして 仕上げてください。 放置すると変色、変質することがあります。	

排水トラップ・シンク	
排水の流れが悪くなったら、バスケットを点検してください。 排水プレートを外して、野菜くずなどが詰まっていたら取り除いてください。	
 <b>注意</b>	
てんぷら油や多量の熱湯を直接排水口・シンクに流さない。  排水器具などが変形し、水漏れやシンク裏面の 防滴材のハガシの原因になることがあります。 てんぷら油を直接流すと排水口や排水トラップ、 排水管（ホース）内面に油脂分が付着し流れが 悪くなり、臭気発生の原因となります。	

# ご使用方法

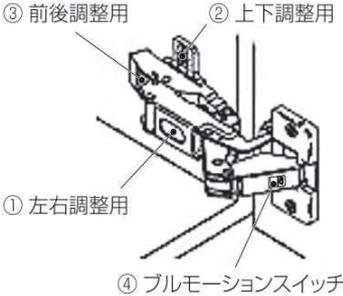
## 扉の調整方法

- 扉の調整は、丁番で行うことができます。調整する際は、プラスドライバーを使用して以下の要領で行ってください。下図の丁番のネジ①②③をまわして調整してください。



① 左右調整用  
② 上下調整用  
③ 前後調整用

ブルモーシオン着脱可能タイプ



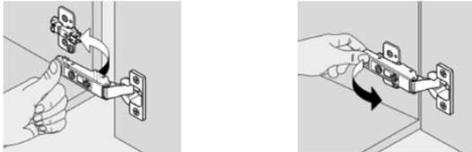
③ 前後調整用  
② 上下調整用  
① 左右調整用  
④ ブルモーシオンスイッチ

ブルモーシオン内蔵タイプ

- 左右調整（扉の目地をそろえる）  
①のネジを右にまわすと外方向に、左にまわすと内方向に動きます。
- 上下調整（扉の上下の片寄りを直す）  
②のネジをまわして、扉の上下調整をしてください。
- 前後調整（扉の前後の傾きを直す）  
③のネジをまわして、扉の前後調整をしてください。

ブルモーシオン内蔵タイプの④については調整済ですので触れないでください。

- 丁番の取り付け
- 丁番の取り外し



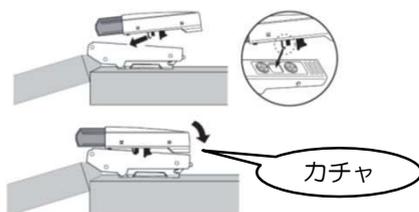
### ⚠ 注意

調整後、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。  
扉が落下して、けがをする恐れがあります。

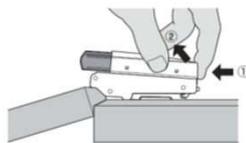


## 扉用ブルモーシオンの取り外し、取り付け方法

- 取り付け  
ブルモーシオン下部の爪を丁番の長方形の穴に当て、手前側に押しはめてください。



- 取り外し  
ブルモーシオン先端部を持ちながら、手前に引いてください。



※左の図解はブルモーシオン着脱可能なタイプの丁番についての説明です。

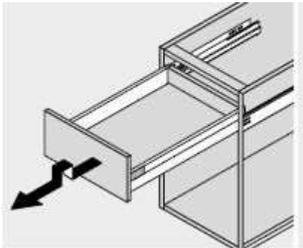
※ブルモーシオン内蔵のタイプの丁番は④のスイッチで切り替えが可能です。

# ご使用方法（続き）

## 引出の取り外し、取り付け方法

### ①引出の取り外し

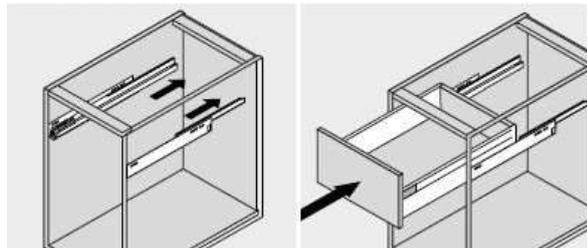
引出を全開まで引出した後、上に持ち上げる。



取外し

### ②引出の取り付け

キャビネット内のレールを奥に戻す。その状態から引出をレールの上に乗せて、そのまま奥まで入れる。一旦、手前に全開に引き出して、引出を下側に押し、外れがないか確認する。



取付

### ⚠ 注意

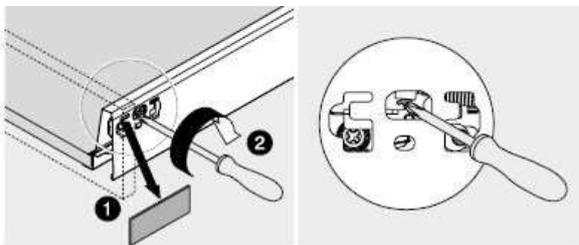
引出を取外す際には引出内の収納物をすべて出し、必ず引出に両手を添えて取り出す。



引出や収納物が落下して、けがをする恐れがあります。

### ③扉およびサイドギャラリーの取り外しと取り付け

引出底板裏面に、たわみ防止の金具が固定されていますので、まずはその金具を外します。サイドカバーを外して、下記図の要領で扉を外します。サイドギャラリーは、扉側のグレーキャップを後ろにずらし、引出し背板側の固定部のつめを押しながらを斜めに引き上げて外します。取付けは、上記順番を逆に行い取り付けを行う。



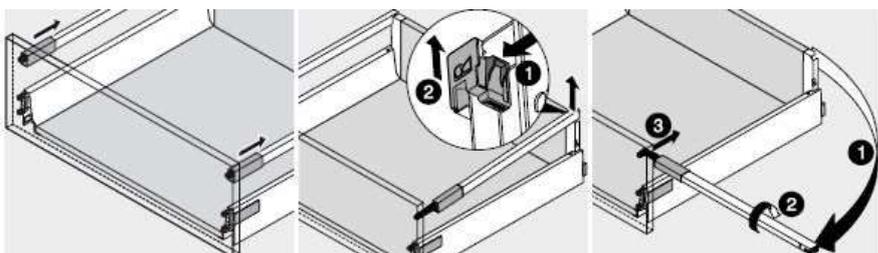
取外し

### ⚠ 注意

サイドギャラリーを持たない。



サイドギャラリーが外れて引出しが落下しけがをする恐れがあります。



取外し

# ご使用方法（続き）

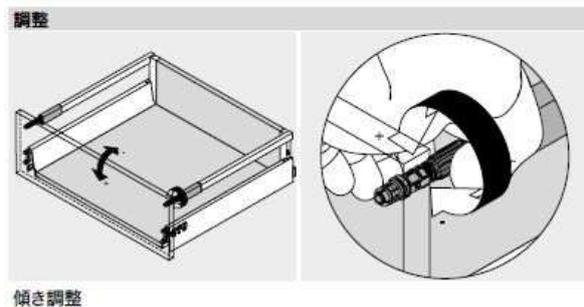
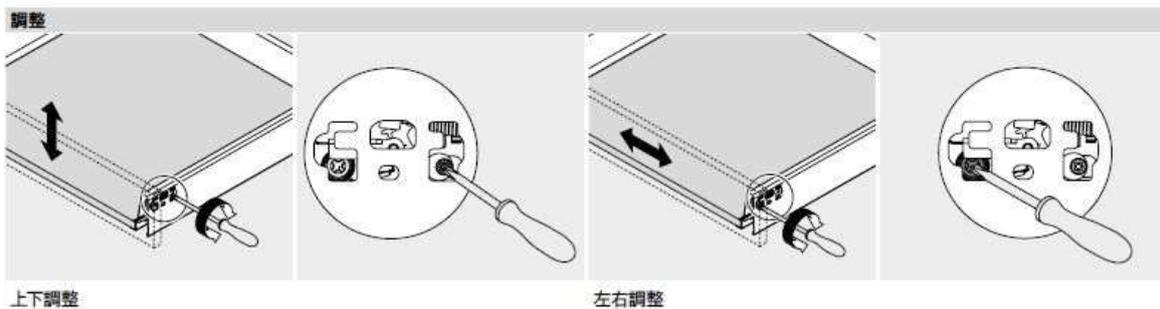
## 引出の前板の調整方法

### ①扉の調整（タンデムアンタロール：コンロキャビネット小引出しを除く）

引出底板裏面に、たわみ防止の金具が固定されていますので、まずはその金具のネジを緩めます。

サイドカバーを外して、下記図の要領で扉の調整を行います。

調整が完了したら、たわみ防止金具のネジを再度締めなおします。



### 引出の調整方法（iBOXレール：コンロキャビネット小引出）

#### ①引出の取り外し・取り付け

引出を全開まで引出した後、上に持ち上げる。

（ローラー式レールのため、斜めに引き上げるとそのまま外せます。）

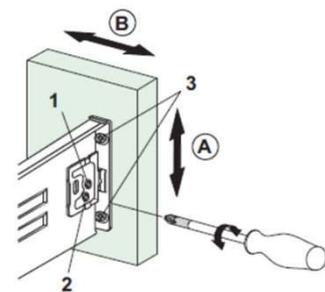
#### ②扉の調整

サイドカバーを外して、下記図の要領で扉の調整を行います。

上下調整は、右図の1番ネジを緩め、2番の偏心ネジをまわして調整します。調整後は、1番ネジを締めて固定します。

左右調整は、右図の3番ネジを緩めて扉を左右に調整します。

調整後は、3番ネジを締めて固定します。

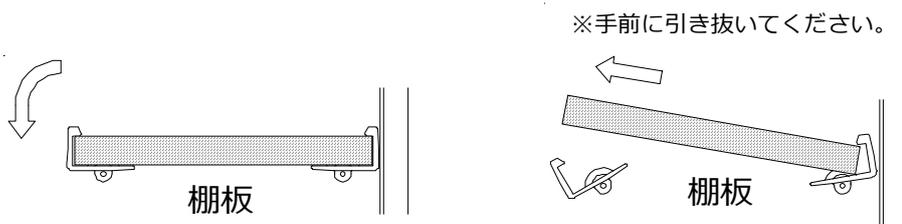


# ご使用方法（続き）

## 棚板の高さを変えるには

### ①棚板の取り外し

取り外しを行う棚板および周辺の収納物を一旦開きベースから出します。  
棚板手前を固定している棚ダボ（受け）を斜めに引き下げて、  
L字部分（引っ掛かり部）を外し、棚板を手前に引き抜きます。



### ②棚板の取り付け

棚ダボ（受け）を希望の高さ位置に合わせて、棚板奥側からはめ込んで、  
取り付けします。  
棚ダボは、L字形になっていますので、棚板がL字に引っかかるように  
取り付けしてください。

#### ⚠ 注意

棚板の高さを変える際には、棚板上  
だけでなく、キャビネット内の収納物  
すべてを降ろしてから行う。

収納物が落下し、けがをする  
恐れがあります。



#### ⚠ 注意

棚ダボ（受け）は、4ヶ所同じ高さ  
（位置）にセットする。

棚板が安定せず、棚板上の収納物が  
落下して、けがをする恐れがあります。



## 洗剤カゴについて

シンクのタイプにより、脱着のできるカゴが  
ついています。洗剤やスポンジ等の置場  
にご使用ください。



# お手入れ方法

## 人造大理石ワークトップ

日常のお手入れは、スポンジ等に台所用中性洗剤を含ませて拭いたあと、乾いた布等で拭き取ってください。

汚れが落ちにくい場合は、台所用クリームクレンザーで汚れを落とし、水拭き後、乾いた布で拭き取ってください。

使用後はよく水洗いし、乾いた布等で拭き取ってください。

表面に傷がついた時は、細かいサンドペーパー（400番位）で底の平らものに当てながら磨いてください。傷が深い場合は、粗いサンドペーパー（240番位）で磨いた後、400番位で磨き、さらにナイロンタワシか水磨ぎペーパー1000番で軽く弧を描くように仕上げてください。



以上のお手入れで光沢が均一でなくなった時は、台所用クリームクレンザーで均一に磨き、水拭き後、乾いた布等で拭き取ってください。

## ステンレスワークトップ

日常のお手入れは、スポンジ等に台所用中性洗剤またはステンレスクリーナーを含ませたスポンジで汚れを取り、仕上げに水拭きしてください。

## クォーツエンジニアストーンワークトップ

日常のお手入れは、スポンジ等に台所用中性洗剤またはステンレスクリーナーを含ませたスポンジで汚れを取り、仕上げに水拭きしてください。

中性洗剤で落ちない汚れは、アルコール、シンナー等の溶剤を使って落としてください。溶剤との接触は、出来るだけ短くするようにしてください。

- ※研磨剤入りクリームクレンザーで、黒色系のワークトップを磨いた場合は、若干艶変化が現れます。
- ※強酸、強アルカリの洗剤原液の使用は避けてください。万一付着した場合は速やかに拭き取り水でしっかり拭きあげてください。

# お手入れ方法（続き）

## セラミックストーンワークトップ

マイクロファイバーや綿製布巾を使用してください。

ナイロンタワシを使用する必要がある場合、ガラスもしくはセラミックに推奨されるタイプをご使用ください。

多目的洗剤やガラス用洗剤もしくは中性洗剤を使用してください。

クリーニングした後、ワークトップを乾燥させてください。

## 扉・キャビネット

- 軽い汚れは柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れのひどい時は、スポンジ等に台所用中性洗剤を含ませて軽く拭き、軽く水拭きし、乾いた布等で拭き取ってください。
- 水がかかった時は、乾いた布等で拭き取ってください。放置すると扉・キャビネットがふくれる恐れがあります。

### お願い

クレンザー・ナイロンタワシなどは扉に傷をつけますので、  
使用しないでください。



台所用中性洗剤以外の洗剤・薬品・溶剤等を使用すると変色、  
変質の原因になりますので使用しないでください。

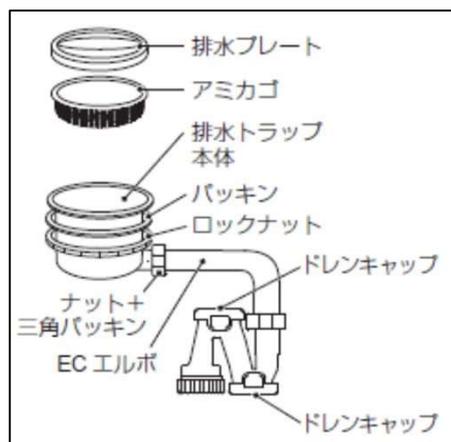


# お手入れ方法（続き）

## 排水トラップ

- 週一程度、排水プレート、バスケット及びトラップ内部の汚れを、ぬるま湯または台所用中性洗剤で落としてください。
- 又メリが気になる時は、スポンジや歯ブラシにクリームクレンザーをつけて又メリを落としてください。  
その後、水でよく洗い流してください。
- 排水の流れが悪い場合は、市販のパイプクリーナーをご使用ください。  
その際はパイプクリーナーの使用方法をよく読んでから使用してください。

### 各部の名



### 調理くずがたまった場合

バスケットを取り出し、水気を切ってから、中のくずを捨てます。  
くずをためすぎると、臭気発生の元になるばかりでなく、水の流れも悪くなります。

### シンク内に水をためる場合

排水プレートの上にフタをセットします。  
(フタはオプション品です)

### お願い

フタは完全水密ではありませんので、ためた水が少しずつ減っていくことがあります。また、蛇口を締め忘れたまま水をためると、シンクより水があふれますのでご注意ください。



# ホルムアルデヒド発散区分について

ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分および下地部分とも F☆☆☆☆	
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」による。	
製造番号	製品本体に貼付けの銘板によりご確認ください。	
ホルムアルデヒド 発散区分詳細	パーティクルボード	F☆☆☆☆
	MDF	F☆☆☆☆
	合板	F☆☆☆☆
	接着剤	F☆☆☆☆

## 故障、異常の見分け方

### ● 故障、異常の見分け方と処置方法

現象	調べていただくところ	対処方法
扉がガタガタするとき	丁番のネジがゆるんでいませんか	7頁参照
引出しがガタガタするとき	調整ネジがゆるんでいませんか	8~10頁参照
排水が詰まったり、 流れにくくなった	バスケットに野菜くずなどが 詰まっていますか	13頁参照
熱湯をかけるとシンクが 「ポコッ」と音がする	これは異常ではありません ・熱湯によるステンレスの伸縮によるものです ・熱い油や多量の熱湯を流すと排水器具などが 変形し水漏れの原因になることがあります	

- 組み込まれる機器、水栓金具などはそれぞれの取扱説明書を確認してください
- 以上のことをお調べになり、それでも具合の悪い時は、すぐにお買い上げの販売店に連絡ください。

# キッチン保証書

品番	製品本体に貼ってあるシールをご確認ください。
保証期間	対象：キッチン本体 期間：お買い上げ日から2年
お買い上げ日	年 月 日
お客様	お名前 ご住所 電話 ( )
工事店	店名 電話 ( )

正常なご使用状態で故障した場合、お買い上げ日から2年間無料にて修理または部品送付をいたします。但し離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費を申し受けます。保証は、日本国内において有効です。

保証期間内でも以下の場合には有償修理となります。

- 取扱説明書および注意ラベルによらずご使用になり生じた、故障および損傷。
- 弊社以外での取付・設置時の不注意または過失による、故障および損傷。
- 弊社以外での取付・設置時において、取付・設置説明書通りの取り付けを行わずに生じた、故障および損傷。
- 引き渡し後の設置場所の移動や落下などによる、故障および損傷。
- 不当な修理や改造による、故障および損傷。
- 火災・天災・地震、その他不可抗力による、故障および損傷。
- 建築躯体の強度不足・歪み・劣化、その他本体製品以外の不具合による、故障および損傷。
- 本来の目的以外での用途や一般家庭用以外での用途による、故障および損傷。
- 消耗品（パッキン、照明電球等）の劣化による、故障および損傷。
- 凍結による、故障および損傷。
- 汚れ・カビ・メッキ部品の錆などの、通常のお手入れ不足による不具合。
- ゴミ等の異物流入および水垢の固着に起因する不具合。
- 井戸水・温泉水などの、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を供給したことに起因する不具合。
- 商品を傷める薬品（塩素系洗剤、強酸・強アルカリ等）の使用により発生した損傷。
- 建築工事後、入居までの間に管理などの不備により生じた損傷。
- 仕上げやキズ等で、お引き渡し時にお申し出がなかった場合。
- 保証書にご購入者様の情報、お買い上げ年月日などの必要事項の記入がない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。

※ 加熱機器・食洗機・水栓金具・レンジフード等の、個々の機器に保証書のあるものについては各機器の保証書に従ってください。

※ 本書は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

(修理ご連絡先) 株式会社 ie-mon  
〒783-0004 高知県南国市大塚甲736-1  
TEL 088-855-9760

※ お客様でご記入をお願いいたします。(サービスを依頼される際にお役に立ちます)